

公開保育による施設関係者評価と第三者評価

日 時	平成 29 年 12 月 11 日（月）～14 日（木） 午前 10 時～11 時 15 分程度
会 場	当園舎
内 容	公開保育を行い、予め当園で用意した評価票を使って評価を行う。評価票は平成 27 年度に作成したものを一部修正したものを採用する。 30 年度より施行される新教育・保育要領を意識して「主体的・対話的で深い学び」を全クラスのねらいとし、年齢に応じた実践を主眼におく。 例年同様、職員同士お互いの保育を見学できるように 1 日 1 クラスずつ行う。 各クラス保護者・当園教員等の施設関係者、並びに市内私立幼稚園代表者 1 名以上の第三者に必ず評価をおこなっていただく。
評価者	施設関係者：保護者 5 名、当園教員 17 名、小学校 2 名（校長 1 名、教頭 1 名）、 地域代表者 1 名 第三者：長岡市内私立幼稚園 4 園（園長 1 名、主任等 4 名）、 県内私立幼稚園 1 園 長岡市立幼稚園 1 園（教諭 1 名）
経 過	11 月 14 日：文書による概要説明（別紙：公開保育の概要参照） 12 月 11 日～14 日（4 日間）：当日文書による指導案配布（別紙：公開保育指導案参照） 12 月末日：評価票の提出 1 月上旬：担任と園長による保育の振り返り（別紙：公開保育評価まとめ）
結 果	別紙記載 評価公表にあたり、不特定多数が閲覧可能な当園ホームページに掲載するため、人物の特定ができないように報告することをご了承下さい。
総 評	今年度は年間を通して主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）に重点を置き、遊びの連続性、ディスカッションやディベートに時間をかけるとともに、自尊心やコミュニケーション能力の向上といったところに焦点を当てて取り組んできた。公開保育もその点をねらいにして実施した。保育の進め方にひと工夫ほしいクラスもあったが、概ねねらい通り取り組めていたと思う。 しかしながら、おおよそ一年を通して教員と意見を交わす中で、現在の一日の過ごし方では限界があり、さらに深めるためには抜本的なカリキュラムの変更が必要と感じた。 30 年度は全日本私立幼稚園幼児教育研究機構が推奨する ECEQ（公開保育を活用した幼児教育の質向上システム）を実施する予定であったが、新潟県私立幼稚園・認定こども園協会

の依頼により 31 年度に実施することになった。

そこで 30 年度はコーディネーターを交えずに ECEQ に沿って園内研修を進め、自己評価を中心に実施しようと思う。

なお、30 年度は私自身 ECEQ コーディネーター研修を受ける予定で、今後の園内研修に役立てていきたいと思う。

最後に師走の多忙の中、当園の公開保育に快くご参加いただき評価していただいた皆さまに感謝申し上げます。

平成 30 年 2 月

報告者 園長 若槻 司

公開保育の概要①

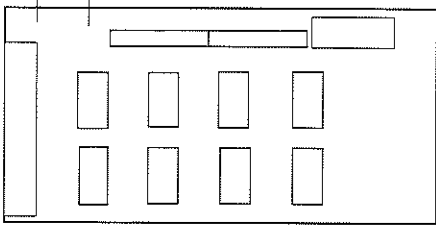
12月11日(月)	年中児 30名	担任：H(3年目) O(3年目)
テーマ：グループの友だちと話し合い、クレープ屋さんの飾りを作ろう！		
テーマの受けとめ：日頃から友だちの意見に耳を傾けたり、発言したりする姿が多くみられるので、グループ活動を取り入れることにした。クレープ作りを設定し、友だちと相談しながら具材などを決めオリジナルのクレープを作った。「お店屋さんごっこでもクレープを売りたい！」という子どもたちの思いから、子どもたちが主体となって活動を展開させられるようにグループ活動に重点を置いて取り組む。		
取り組みの概要： ■四角形のみが描かれた用紙にロボットやお弁当などのテーマを定め、グループで話し合いながら絵を描き足していくあそび。(作品展や遠足後の余韻を楽しむ) ■何屋さんをやるのか全員で話し合い決める。 ■クレープの具材は何を使い、どのように作るのかグループで話し合い制作をする。 ■お店の雰囲気に合う装飾を男女別で話し合い見本を作る。		
当日の内容(予定)： ■装飾物づくり ■どこに飾るのかを話し合う		
		
12月12日(火)	2歳児 23名	担任：Y(7年目) K(7年目) M(3年目) T(8年目)
テーマ：ごっこ遊び制作(花を挿すバケツをグループごとにつくる)		
テーマの受けとめ：1人遊びから並行遊び・連合遊びがみられるようになってきた為、他児をより意識できるようにチーム対抗で競う遊びを活動に取り入れるようにした。ごっこ遊びの中でも他児を意識し、連帯感を持って販売に臨んで欲しいという思いと「主体的・対話的で深い学び」の試みとしてテーマを設定した。		
取り組みの概要： ■動物や食べ物のテーマで仲間集めゲームをする ■花・花瓶制作		
当日の内容(予定)： ■仲間集めゲーム ■バケツ制作		
		

公開保育の概要②

12月13日(水)	年少児 29名	担任：S(12年目) S(4年目) Y(介助員)
テーマ：友だちと協力をしてコスチュームを作り上げよう！		
テーマの受けとめ：作品展の共同制作の際、6グループに分かれて活動をして、ロボットを皆で作りに上げた。初めてのグループ活動でたどたどしく相談をする姿もあったが、友だちと楽しみながら作り上げることができ、達成感を感じていたようだった。お店屋さんごっこをするにあたって主体的に取り組み友だちと協力して作り上げる楽しさを感じてほしいと思い、グループでの活動を行うことにした。		
取り組みの概要：■29人を1グループ4～5人に分ける。■グループごとに相談してラーメンの具材等を決める。■ラーメンの制作■商品以外の必要なものを相談しておく。		
当日の内容(予定)：■グループに分かれてのコスチューム作り ■試着、お店屋さん練習		
		
12月14日(木)	年長児 30名	担任：F(6年目) K(1年目)
テーマ：これはどう？それいいね！！いろんなアイディア盛りだくさん！(ごっこ遊び制作)		
テーマの受けとめ：作品展では小グループの制作活動の中で自ら質問したり、普段関わりのない友達の気付きや意見に共感する姿が見られた。そのため、ごっこ遊びでは、クラス全体での話し合いの場を大切にしていきたいと思い、このテーマを設定した。制作や発表を通して友達の良い所を認めたり、一緒に達成する喜びを感じたり、主体的に考えたり協力したりする中で、充実感を味わい今後の様々な活動への意欲に繋げてもらいたい。		
取り組みの概要：■何屋にするか、クラス全員での話し合いや他クラスへのアンケート調査を行う。■工夫したり試行錯誤しながら材料を制作する。■三八市へ出掛け、売買のやりとりを経験する。■着用したい服を自由に描き、衣装作りを行う。		
当日の内容(予定)：ファッションショーで、気に入った点や頑張ったところなどを発表する。		
		

公開保育指導案		
平成 29 年 12 月 11 日 (月)	年中児 ピノキオ組	担任 : H O
テーマ	グループの友だちと話し合い、クレープ屋さんの飾りを作ろう！	
要領ねらい	□表現(2)感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。	
要領内容	□言語(2)したり、見たり、聞いたり、感じたり、考えたりなどしたことを自分なりに言葉で表現する。 □表現(7)かいたり、つくったりすることを楽しみ、遊びに使ったり、飾ったりなどする。 □人間関係(8)友達と楽しく活動する中で、共通の目的を見だし、工夫したり、協力したりなどする。	
先週までの活動概要と園児の姿	・何クレープを作るのか、どのような素材を使うのかをグループごとで話し合い、「からあげクレープ」「いちごショコラデラックスクレープ」「カラフルクレープ」の制作を始めた。最初はなかなか話し合いが進まなかったが、テーマを分けて何度も行うことにより、「ここはこうだから〇〇にしたら？」「〇〇ばかりじゃなくて、違うものも使おうよ」など具体的に意見が言えるようになった。 ・クレープ作りを始め、お店に必要なもの（看板やコック帽子など）の制作をしていくうちにより一層お買い物ごっこ当日を楽しみにする姿が見られた。	
予想される姿・幼児の姿		環境・指導のポイント
○仏参（10：00～） ・静かな気持ちでお参りや歌をうたう。 ○笑顔いきいき ・ガリバー組を手本にしながら手話に親しむ。 ○朝の会（10：15～） ・「北風小僧の寒太郎」を動作を交えて元気に歌う。 ・姿勢を正し、名前を呼ばれたら元気に返事をする。 ・日付、給食当番、シール当番の確認を行う。 ・シール当番はシールを配り、シールを受け取った子からおはようブックにシールを貼る。 ・爪の衛生チェックを行い、清潔を保つ。 ○主活動（10：40～） ・2種類(輪飾り、プレゼント)の装飾の中から各グループでどれを作るか話し合い、決定する。 ・作り方を振り返り、必要な道具（はさみ、のり）を用意する。 ・見本を見ながら制作をし、わからないことはグループ内の友だちに尋ねたり、教えたりする。 ・完成を喜び合う。 ・作ったものをどのように装飾するか話し合う。 ○予想される子どもの姿 ・どの装飾物を作るか、グループ内で意見が分かれる。 ・作り方に戸惑ってしまいそのことをなかなか言い出せず困った様子の子が居る。 ・お買い物ごっこ当日に期待を寄せる。 ○片付け ・はさみやのりをお道具箱に片付ける。 ・お掃除戦隊に変身し、机や床のゴミを捨てる。 ○給食準備（11：15～） ・順番に排泄、手洗いをを行う。		・先頭で整列を促し、お念珠を配る。 ・落ち着いて参加できるよう、寄り添い傍で見守る。 ・大きな動作で手本となるように楽しんで行う。 ・教室に戻るよう声を掛ける。 ・名前を丁寧に呼び、返事を笑顔で受け止める。 ・一人ひとりの爪を見て、長さをチェックする。綺麗であればごほうびシールを渡す。 ・材料や見本、手拭きタオル、のり付け用の紙を各机の中央に置く。 ・ロッカーの上下に分けてはさみとのりを持ってくるよう声を掛け、混雑を避ける。 ・見本を示しながら作り方を振り返り、子どもたちに問い掛けながら確認する。 ・本番を想定してクレープ台や鉄板を置き、飾り方のイメージが浮かぶよう環境設定を行う。 ・意見をどのようにまとめるべきか提案をする。(多数決、じゃんけん等) ・グループ内で助け合えるよう、「〇〇くん、〇〇ちゃんに作り方を聞いてみたら？」など問い掛ける。 ・完成した喜びに共感し、お買い物ごっこ当日に期待がもてるような声掛けをする。 ・楽しみながら後片付けができるよう、「〇〇ちゃんレンジはゴミ集めが速いね！」等言葉掛けをする。 ・排泄、手洗いを促す。机を消毒する。

公開保育指導案		
平成 27 年 12 月 12 日 (火)	2 歳児 ラスカル組	担任: Y K M T
テーマ	ごっこ遊び制作(花を挿すバケツをグループごとにつくる)	
要領ねらい	人間関係(2)身近な人と親しみ、かかわりを深め、愛情や信頼感を持つ。	
要領内容	人間関係(6)自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気づく。 言葉(3)したいこと、してほしいことを言葉で表現したり、分からないことを尋ねたりする。 表現(7)かいたり、つくったりすることを楽しみ、遊びに使ったり、飾ったりなどする。	
先週までの活動概要と園児の姿	○花屋の開店に向けて ・花作り…折り紙をちぎり花びらをつくり、花の中心となる丸い画用紙の周りに貼り付ける。 …半分サイズのお花紙の中心をつまみ、反対の手でお花紙の中心から外側へ絞る。 ・花瓶作り…半分サイズの折り紙にマーカーで円を描き模様をつける。更にシールで装飾する。 ・バケツ飾り…コーヒーフィルターににじみ絵の制作をし、蝶をつくる。 ・財布作り…手形を少し重ねて3つ押し、チューリップ模様をつける。 ・ごっこ遊び練習…実際に制作した花や花瓶を利用し買い物の練習をする。 ＊ごっこ遊びを楽しみに待ち、家庭で制作の様子を話したり、買い物の練習に励んでいた。 ○「主体的・対話的で深い学び」の試み ・動物をテーマに仲間集めゲーム。 ＊互いに声を掛け合ったり、他児が迷っていると仲間の元へ誘導していた。	
予想される姿・幼児の姿		環境・指導のポイント
○仏参(10:00~) ・ホールへ移動し、仏参に参加する ・ホール後方に通園カバンを置く ・各自マークシールの上に立ち、合掌をする ○ラジオ体操をする ○他クラスの退室後、朝の会をする(10:15) ・ホール後方へ通園カバンを取りに行き、ホール中央を向いてマークシールの上に正座する ・日付を確認し、おはようブックにシールを貼る ・シールを貼り終えたらカバンをステージ上に置く ・点呼をとる ・『山の音楽家』『ゆき』を歌う ○仲間集めゲーム(10:25) ・以前制作した花の色を基に、色カードを胸につける ・保育者の話を聞く ・『さんぽ』音楽に合わせて行進し、合図が鳴ったら同じ色カードをつけている仲間同士(4~5人)で集まって手をつなぐ ・その場で着座し、保育者の話を聞く ・カバンを背負い保育室へ移動する ○バケツ制作(10:40) ・カバンをロッカーに片づけクレパスを用意する ・ホールで行った、仲間集めゲームで付けていたカードと同じ色紙が貼られた机の席へ着座する ・腕をまくりクレパスのふたを開ける ・導入で『ちょうちょう』を歌う ・制作の説明を聞く ・クレパスで折り紙に模様を描く ・制作の説明を聞く ・同じ机の仲間と相談しながら折り紙を台紙に貼る ・以前制作した蝶々の裏に貼られた両面テープのはく離紙を剥がし、折り紙を貼った台紙に貼る ・各機のグループで制作したバケツを観賞する		・保育室は机に新聞紙を貼りイスと共に配置しておく ・身だしなみが整っているか確認する ・落ち着いて参加できるようそばに付き見守る ・等間隔を開けて体操の体系に広がるよう促す ・ホワイトボードをホール中央に配置する ・シールを貼る場所が分かりやすいよう、日にちをホワイトボードに大きく書く ・大きな声で返事ができたら褒めて、更なる意欲へ繋げる ・振りをつけ子どもと一緒に楽しみながら歌う ・以前制作した花の色を基に、色カードを子どもの胸につける ・手本を見せて仲間集めゲームの説明をする ・仲間を見つけれない子には、どのように仲間を探せばいいかヒントをだす。周囲の子に、まだ仲間が見つからない子がいる事を知らせる ・移動や制作準備が混雑しないよう男児から保育室へ移動し、少し時間を空けて女児が移動する ・席が分からず迷っている子に付き添い一緒に席を探す ・手で蝶を表現し楽しんで歌う ・クレヨンワークを見せ様々な模様を提案しつつ制作の説明をする ・クレパスのふたを閉めるよう促す ・のりが付着した手を拭く布巾、はく離紙を入れるゴミ箱を各机に用意する ・用意しておいたバケツに台紙を貼り合わせ1つずつ見せる
○排泄・手洗い(11:10)		

公開保育指導案		
平成29年12月13日(水)	年少児 ムーミン組	S S Y (介助員)
テーマ	友だちと協力してコスチュームを作り上げよう！	
要領ねらい	人間関係(1)幼稚園生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。 言葉(2)人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。	
要領内容	人間関係(7)友だちのよさに気付き、一緒に活動する楽しさを味わう。(8)友だちと楽しく活動する中で、共通の目的を見いだし、工夫したり、協力したりなどする。 言葉(2)したり、見たり、聞いたり、感じたり、考えたりなどしたことを自分なりに言葉で表現する。(8)いろいろな体験を通じてイメージや言葉を豊かにする。	
先週までの活動概要と園児の姿	・作品展の共同制作の際に分かれた6グループで活動を進めた。 ・子どもたちがラーメンの具材のアイディアを出した。 ・グループごとで相談をして、どの具材を作るか決めた。相談を行い、すぐに意見がまとまるグループ、一人一人が自分の意見を出し、譲らずなかなか決まらないグループもあった。グループ内で「どれにする？」と皆をまとめる子、「それいいね！」と友だちの意見に賛成する子、「これがいい！」と自分の意見を主張する子と様々な姿が見られた。 ・ラーメンの商品以外に必要なものはないか聞くと、看板や割り箸、水、エプロンや帽子等の意見が出た。	
予想される姿・幼児の姿		環境・指導のポイント
○仏参(10:00～) ・ホールに行き、手を合わせ仏参に参加する。 ・ラジオ体操をして、体を動かす。 ・教室に戻る。 ○朝の会(10:15～) ・カバンを出し、机の横にかける。 ・季節の歌「こぎつね」を元気な声で歌う。 ・朝の挨拶をして、日付、天気を皆で言う。 ・名前を呼ばれたら、大きな声で返事をする。 ・おはようブックにシールを貼る。 ・おはようブックをカバンにしまい、グループ別に個人のカゴに戻る。 ○コスチューム制作[主活動①](10:30～) ・グループごとに集まって席に座る。 ・グループ内で相談をして、帽子かエプロンのどちらを制作するか決める。 ・帽子、エプロンの制作に取り組む。 (クレパス、シール、折り紙、セロハンテープを使って、自分や友だちが使いたいと思うようなコスチュームに仕上げる。) ○コップの制作[主活動②] ・折り紙でコップを折る。 ○コスチューム着用[主活動③] ・グループごとに皆で制作したコスチュームをつけて、出来上がった達成感を味わい、お店屋さんごっこを楽しみにする。 ○給食準備(11:15～)		○ ・子どもの姿勢や手の合わせ方を指導しながら、見守る。 ・子どもと一緒にラジオ体操をする。 ・歩いて教室に戻るよう促す。 ○ ・子どもに正しい椅子の座り方を問いかけ、落ち着いて朝の会を行えるようにする。 ・子どもたちの前に立ち、一緒に楽しみながら歌う。 ・子どもたちの様子を見守りながらピアノを弾く。  ○ ・グループで集まるよう促す。それぞれのグループでエプロンか帽子のどちらを制作するか相談するよう声を掛ける。 ・制作するものが決まったところから、材料を配布する。 ・子どもたちの制作の進み具合を見て、終わりの時間を時計の数字で知らせる。 ○ ・折り紙を配布し、以前一度折ったことのあるコップの制作をするよう声を掛ける。 ・子どもたちが制作したエプロン、帽子に紐やゴムをつけて着用出来るように準備する。 ○ ・グループごとに前へ呼び、皆で制作したコスチュームを身に付け「ラーメン屋」をイメージ出来るようにする。

公開保育指導案		
平成 29 年 12 月 14 日 (木)	年長児 ガリバー組	担任 : F K
テーマ	これはどう？それいいね！！いろんなアイディア盛りだくさん！（ファッションショー）	
要領ねらい	言-2 人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。 人-2 身近な人と親しみ、かかわりを深め、愛情や信頼感を持つ。	
要領内容	言-1 保育教諭等や友達の言葉や話に興味や関心を持ち、親しみを思っで聞いたり、話したりする。 言-4 人の話を注意して聞き、相手に分かるように話す。 人-7 友達のよさに気づき、一緒に活動する楽しさを味わう。	
先週までの活動概要と園児の姿	・友達と制作する中で様々な制作方法を知り、その作り方に共感したり、自分だったらどう作るかを考えた。また自発的に役割分担をし協力したり、自分の担当以外の食料作りの手伝いをした。 ・衣装作りではイメージした服に向けて、画用紙やカラーポリ袋を自由に切り、飾りつけを楽しんでいた。出来上がると保育者や友達に「見て見て！」と自信満々に見せる姿があった。	
予想される姿・幼児の姿		環境・指導のポイント
○仏参をする（10：00～） ・ラジオ体操をする。 ○朝の会（10：15～） ・鞆を持ち、床に座る。 ・出欠確認で元気よく返事をする。当番の発表を聞き、シール当番は保育者からシールを受け取り、待っている子どもに渡す。 ・シールをおはようブックに貼った子どもから鞆をロッカーに片づけて、元の場所に座る。 ・「あわてんぼうのサンタクロース」を歌う。 ○保育者の話を聞く（10：30～） ・昨日行ったファッションショーの続きをすることを聞き、楽しみに待つ。 ○ファッションショーをする ・保育者に名前を呼ばれた子どもは廊下に行き、友達と協力して衣装の着替えを行い、着替えを楽しむ。 ・観客の子どもはファッションショーの準備を行う。 ・発表者は1人ずつ音楽に合わせて歩いたり、ポーズをとったりファッションショーを楽しむ。 ・実際に作った衣装を着て、「自分の名前」「衣装の名前」「頑張ったところ」「好きなところ」等を一人ひとり発表する。 ・自分の言葉で堂々と発表する子どもや緊張して言葉が出ず黙る子どもがいる。 ・発表を聞く子どもは静かに聞いたり、保育者の「質問ある人？」の声掛けに対して元気よく「はい！」と返事をし、友達に気になったことを質問したりする。 ・友達が質問したことに対して、内容を理解し、考えたことを自分の言葉で伝えようとする。 ・発表が終わったら自分の席に座る。 次の発表者は廊下に行き、準備をする。 ○保育者の話を聞く ・作った服を着て、保育者や友達に見てもらい、明日のお買い物ごっこに期待感を持つ。		・正しい姿勢でお参りが出来ているか見て回る。 ・子どもたちと一緒にラジオ体操を行う。 ・グループごとに鞆を持って座るよう促す。 ・出欠確認をする。子どもたちが自分の当番を聞き逃さないよう、大きな声で発表する。 ・楽しんで歌えるよう曲調に合わせてピアノを弾く。 ○発表者 △観客 □保育者 →歩く道 ・活動に期待が持てるよう昨日行ったファッションショーについて振り返り、今日はまだ発表していない子どもがすることを伝える。 ・発表者の名前を呼び廊下で着替えるよう促す。 ・観客の子どもにファッションショーの準備するよう促し、一緒に行く。（椅子の準備、カメラの用意） ・発表者を拍手で迎え、観客の子どもと一緒にファッションショーを楽しむ。 ・発表する内容を子どもたちと確認し、一人ずつ順番に発表するよう声を掛ける。 ・子どもたちが発表する様子を傍で見守り、発言に共感したり、その子の表現が難しいときは周りの子どもに伝わりやすいよう代弁したりする。 ・発表を聞く子どもに質問があるか声掛けをする。 ・保育者が発表者の頑張りを認め大きな拍手を送ることで見ていた子どもたちも共感出来るような環境をつくる。 ・発表したら、自分の席に座るよう促す。 ・次に発表する子どもに廊下で準備をするよう促す。 ・作った衣装をお買い物ごっこで着ることを再確認し、当日は友達と協力して楽しく活動できるよう声掛けをする。

年中組 公開保育評価まとめ

公開保育日 平成 29 年 12 月 11 日（月）

評 価 者 市私幼父母の会連合会 1 名、小学校 1 名、私立幼稚園 2 名、保護者 2 名、当園職員 3 名

評 価 点 5 段階評価

評価する項目	評価（平均）
テーマの設定について年齢に対し適切でしたか	4.9
今回設定した教育要領のねらいに沿った保育がおこなえていましたか	4.6
今回設定した教育要領の内容に沿った保育がおこなえていましたか	4.7
予想される姿や環境・指導のポイントは的を得ていましたか	4.8
園児は主体性を持って取り組んでいましたか	4.2
園児同士声を掛け合ったり、伝えあったりしていましたか	3.8
園児は楽しんで取り組んでいましたか。	4.7
園児は理解して取り組んでいましたか。	4.4
時間配分は適切でしたか	4.8
教具・教材を適切に利用できていましたか	4.6
保育者の園児に対する態度や言葉遣いは良かったですか	4.8
保育者の声の大きさや早さは園児に伝わりやすかったですか	4.8
保育者同士の連携はうまくいっていましたか	4.9
教室の整理整頓、清潔にしてありましたか	4.8
教室を保育しやすい環境にしてありましたか	4.7
■特に良かった点について（まとめ） ・最後まで話し合いで調整を図ったことが良かった。声の大きい園児に引っ張られるグループも見られたが、バランスの取れる方向に園児の主体性を重視しつつ繰り返し調整する手法に感心した。 ・一部の園児が席を立て騒ぎ始めても大きな声を出すことなく、普通に話しかけ素直に傾聴する姿から、日頃の保育の姿勢を感じた。 ・話し合いの時間、制作の時間も十分あり、園児がじっくり取り組む姿があった。 ・園児一人一人の声に反応し受け止める保育者の姿があることで、園児が自分の思いや考えを自信をもって伝えていた。 ・園児が楽しんで制作に取り組む姿が良かった。	

■保育の振り返り（抜粋）

（主になった先生）

- ・譲り方、話し合い方、分け方など、年齢に応じた方法をもう少し考慮する必要があると思った。
- ・グループ内で声を掛け合いながら活動することもねらいの一つだったが、あまり狙い通りにいかなかった。日々の生活や集団遊びの中でももう少し配慮していこうと思う。

（補助した先生）

- ・普段より保育者同士が話せなくて、細かなところでスムーズにいかない場面があった。
- ・園児が主体的に取り組めるよう極力援助しないように心がけたが、もう少し声掛けをして引き出してあげればよかった。

2歳児クラス 公開保育評価まとめ

公開保育日 平成29年12月12日（火）

評価者 私立幼稚園1名、保護者1名、当園職員5名

評価点 5段階評価

評価する項目	評価（平均）
テーマの設定について年齢に対し適切でしたか	4.9
今回設定した教育要領のねらいに沿った保育がおこなえていましたか	4.4
今回設定した教育要領の内容に沿った保育がおこなえていましたか	4.9
予想される姿や環境・指導のポイントは的を得ていましたか	4.4
園児は主体性を持って取り組んでいましたか	4.0
園児同士声を掛け合ったり、伝えあったりしていましたか	3.9
園児は楽しんで取り組んでいましたか。	4.9
園児は理解して取り組んでいましたか。	4.3
時間配分は適切でしたか	3.7
教具・教材を適切に利用できていましたか	4.9
保育者の園児に対する態度や言葉遣いは良かったですか	5.0
保育者の声の大きさや早さは園児に伝わりやすかったですか	5.0
保育者同士の連携はうまくいっていましたか	4.9
教室の整理整頓、清潔にしてありましたか	5.0
教室を保育しやすい環境にしてありましたか	5.0
■特に良かった点について（まとめ） ・主になって指導していた先生の言葉がけなど園児に寄り添った優しい目線で、保育室の雰囲気がとても良かった。 ・4人の先生の役割やチームワークの良さが素敵な環境となっていたと感じた。 ・教具の使用後の置く場所を椅子の下にすることにより、作業に集中できる工夫ができていました。 ・日付や天気を園児と丁寧に確認していた点。 ・折り紙をグループの一人に配り、何色がいいか仲間に聞く姿が、対話的なかわりに配慮されている点。 ・グループごとに園児同士話し合う場面があって良かった。	

- ・糊付けをしやすいうに工夫されていて良かった。
- ・導入で歌やゲームを取り入れることで楽しく活動に入っていた。

■保育の振り返り（抜粋）

（主になった先生）

- ・設定した時間よりかかってしまった。
- ・教具の配置がうまくなかった。

（補助した先生）

- ・各グループのリーダー的園児が積極的に他児に話しかける姿があり良かったが、うまく活動できない園児も多いので、もっとすばやく気付いて声掛けをし対応してあげればよかった。
- ・内容を詰め込みすぎた。もう少し一つ一つの活動を丁寧にすればよかった。

年少組 公開保育評価まとめ

公開保育日 平成 29 年 12 月 13 日（水）

評 価 者 小学校 1 名、私立幼稚園 2 名、当園職員 5 名

評 価 点 5 段階評価

評価する項目	評価（平均）
テーマの設定について年齢に対し適切でしたか	4.9
今回設定した教育要領のねらいに沿った保育がおこなえていましたか	4.6
今回設定した教育要領の内容に沿った保育がおこなえていましたか	4.8
予想される姿や環境・指導のポイントは的を得ていましたか	5.0
園児は主体性を持って取り組んでいましたか	4.8
園児同士声を掛け合ったり、伝えあったりしていましたか	4.8
園児は楽しんで取り組んでいましたか。	5.0
園児は理解して取り組んでいましたか。	4.6
時間配分は適切でしたか	4.8
教具・教材を適切に利用できていましたか	4.8
保育者の園児に対する態度や言葉遣いは良かったですか	4.9
保育者の声の大きさや早さは園児に伝わりやすかったですか	5.0
保育者同士の連携はうまくいっていましたか	4.9
教室の整理整頓、清潔にしてありましたか	4.9
教室を保育しやすい環境にしてありましたか	4.8
■特に良かった点について（まとめ） ・自分本位でなく協力し合う姿が良かった。 ・お店屋さんごっこを園児が楽しみに待ちわびている姿が良かった。 ・活動が途切れることなく、スムーズな展開が印象的でした。 ・園児がイメージしやすいようにわかりやすく話していた。 ・言葉による伝え合いや、自立心を促す保育が印象的でした。 ・先生が指示するのではなく、園児自身で決めたり考えたりしながら活動できるように工夫されていた。 ・園児が楽しんでいきいきと活動する姿が良かった。	

グループ分けの際、指を使って数を示すことでどのようにすれば均等になるか考えやすい工夫をしていた。

- ・何の制作をするかグループ内で相談していたが、ほとんどの園児が主張することができていた。相談して決めたことで納得して制作に取り組んでいた。

■保育の振り返り（抜粋）

（主になった先生）

- ・「園児が話し合う」ことは年少児には難しいと感じていたが、時期や日々の経験の積み重ねにより思った以上にできることがわかった。

（補助した先生）

- ・自分の思いを言葉にしたり、友達の意見に賛同したり、譲ったりと 4 月に比べて随分と成長したと感じた。

- ・園児自身が納得して取り組むことで、意欲的で楽しんでいる姿に日頃の声掛けの重要性を再認識した。

年長組 公開保育評価まとめ

公開保育日 平成 29 年 12 月 14 日（木）

評 価 者 地域代表者 1 名、私立幼稚園 1 名、公立幼稚園 1 名、保護者 2 名、当園職員 4 名

評 価 点 5 段階評価

評価する項目	評価（平均）
テーマの設定について年齢に対し適切でしたか	5.0
今回設定した教育要領のねらいに沿った保育がおこなえていましたか	4.9
今回設定した教育要領の内容に沿った保育がおこなえていましたか	4.9
予想される姿や環境・指導のポイントは的を得ていましたか	4.4
園児は主体性を持って取り組んでいましたか	4.9
園児同士声を掛け合ったり、伝えあったりしていましたか	4.6
園児は楽しんで取り組んでいましたか。	5.0
園児は理解して取り組んでいましたか。	4.7
時間配分は適切でしたか	4.7
教具・教材を適切に利用できていましたか	4.4
保育者の園児に対する態度や言葉遣いは良かったですか	4.6
保育者の声の大きさや早さは園児に伝わりやすかったですか	4.3
保育者同士の連携はうまくいっていましたか	4.9
教室の整理整頓、清潔にしてありましたか	4.9
教室を保育しやすい環境にしてありましたか	4.7
■特に良かった点について（まとめ） ・自分で制作した作品を堂々と発表できていた。質問に対してもきちんと受け答えできる園児が多く素晴らしかった。 ・うまく受け答えのできない園児に対してのフォローも良かった。 ・園児の話を聞く姿、活動する姿から信頼関係の深さを感じた。 ・園児の意見を取り入れながら、園児も保育者も笑顔で楽しんでいる姿が良かった。 ・発表する園児が自分の言葉で言えるように声掛けしていた。 ・園児が積極的に発言していて良かった。 ・園児が互いに認め合う姿が良かった。	

- ・折り紙で作ったカメラを用意するなどファッションショーの雰囲気作りに工夫があり良かった。

■保育の振り返り（抜粋）

（主になった先生）

- ・緊張してしまい一部内容を飛ばしてしまったり、園児へ話す際、声が小さかったり早口になってしまった。発表する園児の対応に精いっぱい、周りの様子に気をかけることができなかった。
- ・ファッションショーを楽しく参加でき、達成感も味わうことができたと思う。

（補助した先生）

- ・園児はグループ制作・発表など経験を重ねていたので、たくさんの人の前でもうまく発表ができていたと思う。自己表現が苦手な園児も意欲的に参加できていた。
- ・主になる先生と言葉が重ならないように気を付けすぎて、かえって言葉がけが減ってしまった。
- ・着替えの待ち時間の使い方をもう少し工夫すればよかった。